

令和元年度門真市立公民館運営審議会 議事録

会議名称	令和元年度門真市立公民館運営審議会
開催日時	令和2年2月25日（火）午前10時00分から午前11時30分まで
開催場所	門真市立文化会館 ホール
出席者	(委員) 萩原委員長、勝川委員長代理、宮本委員、奥田委員、山田委員、川崎委員【出席人数6人（新谷委員欠席）／全7人中】 (教育委員会) 西口管理監、隈元社会教育課長、山下主査 (事務局) 日置文化会館長、三谷公民館長、小林市民プラザ長 山下生涯学習センター長、吉田青少年活動センター長 北井係員（文化会館）、福崎係員（文化会館） 陸係員（公民館）、アクティオ株式会社大阪営業課 青山
議題 (内容)	・社会教育施設（文化会館、公民館及び門真市民プラザ）の事業について ・門真市生涯学習複合施設等について
傍聴者数	0人
事務局	門真市立文化会館（電話）06-6901-3300

<日置文化会館長>

それでは、定刻になりましたので、審議会を開催いたします。

開会に先立ちまして、お手元の資料の確認をお願いいたします。まず、「次第」と「座席表」です。資料1「門真市立公民館運営審議会名簿」です。資料2「門真市立公民館運営審議会に関する法令等」です。資料3「門真市立公民館運営審議会の会議公開要領」です。資料4「門真市立公民館運営審議会規程」です。資料5「指定管理者 各館資料」として表紙を付けて綴じているものです。「指定管理者の管理運営方針」について。「課題・ねらいと事業シートの連関表（マトリックス表）」です。以下各館の資料ですが、まず、文化会館の資料です。「事業シート」「事業一覧」「アンケート」がセットになっています。以下、各館はこれに準じます。資料6「門真市生涯学習複合施設等についての資料」です。こちらはA4両面のものが3枚とA3のカラーが1枚です。資料に不足はございませんでしょうか。

それでは、令和元年度門真市立公民館運営審議会を開会いたします。進行につきまして、次第に挙げております案件1については、本日ご出席の委員の皆様には何度かご説明申し上げておりますので本日は割愛させていただきます。まずは、事務局を務めております文化会館館長の日置が進行させていただき、案件2以降については前回委員のみなさまにご選出いただきました萩原委員長にご進行をお願いいたします。

はじめに委員の皆さまを名簿順にご紹介いたします。資料1「門真市立公民館運営審議会名簿」をご覧ください。

大阪樟蔭女子大学教授の萩原委員長です。

門真市文化協会 副会長の勝川委員長代理です。

文化会館サークル代表の宮本委員です。

門真市子ども会育成連合会 副会長の奥田委員

特定非営利活動法人門真はすねクラブマネージャーの山田委員です。

公民館サークル代表の川崎委員です。

門真市 PTA 協議会副会長の新谷委員は本日ご欠席とのことでお知らせいただきました。皆様、本日はよろしくお願いたします。

それでは、引き続き、事務局の紹介をさせていただきます。まず、僭越ながら指定管理者の方から紹介させていただきます。

<日置文化会館長>

門真市立文化会館館長の日置です。よろしくお願いたします。

<三谷公民館長>

門真市立公民館館長の三谷です。よろしくお願いたします。

<山下生涯学習センター長>

門真市民プラザ、生涯学習センターセンター長の山下と申します。よろしくお願いたします。

<吉田青少年活動センター長>

青少年活動センター長の吉田です。よろしくお願いたします。

<小林市民プラザ長>

門真市民プラザ、プラザ長の小林でございます。よろしくお願いたします。

<青山（アクティオ株式会社大阪支店営業課）>

アクティオ株式会社大阪営業課の青山でございます。どうぞよろしくお願いたします。

<陸係員>

公民館職員の陸と申します。どうぞよろしくお願いたします。

<福崎係員>

文化会館職員の福崎です。どうぞよろしくお願いたします。

<北井係員>

文化会館職員の北井です。どうぞよろしくお願いいたします。

<日置文化会館長>

続いて教育委員会様、お願いいたします。

<西口管理監>

お世話になっております。教育委員会教育部の西口でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

<隈元社会教育課長>

社会教育課長の隈元と申します。よろしくお願いいたします。

<山下主査>

同じく社会教育課主査の山下と申します。よろしくお願いいたします。

<日置文化会館長>

はい、ありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、ぜひとも、様々な観点からご指導、ご助言をいただきたいと思えます。ご意見いただいた内容は、施設職員と共有し、門真市に提出するモニタリングの指定管理者自己評価結果に記載します。

なお、公民館運営審議会は、資料3「門真市立公民館運営審議会の会議公開要領」に基づき、公開すること定められていることを申し添えます。

それでは、次に本日の案件に入っていきたいと思えます。

まず、案件1「公民館運営審議会の役割」については、先ほど申し上げましたように本日は割愛させていただきます。

次に、案件2「社会教育施設の管理運営及び事業について」に移りたいと思えます。それでは、この後の進行を萩原委員長にお願いいたします。

<萩原委員長>

ではみなさん、あらためておはようございます。

前回に引続き委員長に選出され、僭越ですが進行を務めさせていただきます。

先ほど新型コロナウイルスの影響で文化会館にて行われている交流や体験活動、学習活動において様々な影響が出ていると拝察いたします。

現状きびしい状況にあると思えますが、感染防止に努めるのは当然のこととして、出来る

事をやった上で学習活動が必要以上に停滞する事がない様に務めていただければとお願い申し上げます。

では早速、審議のほうに入らせていただきたいと思います。案件2として「社会教育施設の事業」についてあげていただいておりますので、今からこれについて審議したいと思います。

各館からの説明の前に事務局から指定管理者の施設の管理運営方針について説明があるそうです。それではお願いしたいと思います。

<日置文化会館長>

はい、あらためまして文化会館館長の日置です。

文化会館から順番に各館の説明をさせていただきますが、各論に入る前に総論として、「文化会館」「公民館」「生涯学習センター」「青少年活動センター」の指定管理者である私もアクティオのこれら施設の管理運営方針について少しご説明申し上げます。

まず、黄色のファイルにありますこちらの資料をご覧ください。

指定管理者の候補者選定委員会ではありませんので詳細は省略させていただきます。こちらの上段にあります緑色の2つの四角囲みの中をご覧ください。我々アクティオは、門真市の『第五次総合計画』（左側の四角です）、や『生涯学習推進基本計画』（右側の四角です）、を踏まえて、各館の設置目的（真ん中にある茶色の横長の四角です）に鑑み、下段に青色の四角囲みでありますような問題点を認識しております。左の四角から「生涯学習の認知度が低い」。「公民館利用者の減少」。「利用者の高齢化・固定化」。「講座受講者の減少」。「外国籍市民との交流不足」。「多文化共生の取り組み」。

いずれも今日、須らく社会教育・生涯学習施設が抱えている問題点ですが、これに対し、我々アクティオは、各施設の運営管理の課題として2枚目にありますような課題を設定いたしました。「学習に関する情報発信、相談支援の充実」。「市民ニーズに対応した学習プログラムの充実」。「学習した力を自発的に発揮できる場の提供」。「地域住民、各種機関・団体等との連携」。「地域コミュニティの充実を図る必要性」。「若い世代の定住化」。「シニア世代対象の地域活動担い手育成」

今から始めます各館からの説明において、特に、事業については今申しあげました課題の観点からいかに我々アクティオが自主事業に取り組んでいるのかを2～3の事業例を挙げまして、ご説明申し上げます。

<日置文化会館長>

では、文化会館から始めます。

まず、会館の概略を、次に運営管理に少し触れ、続いて本日のメインである「事業」についてご説明申し上げます。最後に今後の展開について少し触れさせていただきます。まず会館の概略からはじめます。

門真市立文化会館は、昨年8月に開館51年目を迎え、数年後には後ほど教育委員会様からご報告があります新複合施設に、機能の一部が移行されることが想定されています。利用者の特徴としては従来型の社会教育施設であることから、サークル活動が主体になっていることが挙げられます。なお、特筆すべき点としてルミエールホールが改修中であったことから、ルミエールホールを活動拠点としていたダンスや楽器演奏などの団体利用が増加しております。

次に、事業面における取り組みについてご説明申し上げます。まずは、文化会館の事業一覧をご覧ください。文化会館では、今年度、ご覧のような事業を企画実施しておりますが、残念ながら現在社会的にも大きな問題となっております新型コロナウイルスの発生により今後予定しておりました事業のいくつかを中止ないし延期にすることにしております。この点、以下の各館においても同様ですのでご承知置き願いましたらと存じます。

それでは、先ほど総論としてお話申し上げましたように、我々アクティオが設定しました課題に沿う形で、文化会館では特に3つの事業についてご説明申し上げます。

まず、資料の文化会館の自主事業シート①をご覧ください。事業名『みんなでいきいき百歳体操』です。これは、地域包括支援センター、シルバー人材センターとの連携による事業です。全国的に普及が進む介護予防体操「いきいき百歳体操」を門真市で普及する活動に地域包括支援センターやシルバー人材センターと共に取り組んでいます。また、介護予防体操の実施だけでなく、体操の後にはシルバー人材センターが中心になってコミュニティサロン（「つどエール」）を開催しており、コミュニティの充実の一端を担っているところに特色があります。さらに、上記取り組みの実施時のリーダーは、シルバー人材センターの会員が務めており、シニア世代の地域活動の担い手育成にも寄与しています。現在、文化会館の他に市民プラザにおいても9月から同様の取り組みを行っていますが、今後は公民館においても同様に取り組んでいく予定です。ただ、残念ながら先週より新型コロナウイルスの影響で活動を中止しております。

次に、文化会館の自主事業シート②をご覧ください。事業名『文化会館サークル presents シリーズ 歌声広場』です。サークルが演奏し、『ふれあいまつり』の来館者がみなで歌う昔懐かしい“歌声喫茶”風の企画です。一昨年より実施している『文化会館あ・ら・かると』などの『文化会館サークル presents シリーズ』の一環として昨年の『ふれあいまつり』の時から実施しています。「学習に関する情報発信」「学習した力を自発的に発揮できる場の提供」「地域住民、各種機関・団体等との連携」「地域コミュニティの充実」といった課題をふまえつつ、サークル活動の日頃の成果を地域住民に還元する過程でサークル活動の活性化を目指すことに主眼がありますが、『ふれあいまつり』が、サークルの成果発表だけでなく、来館の一般市民がもっと主体的に参加できる“場”となり、施設利用のきっかけにつながることも願い企画しております。

文化会館閉館後のサークル活動の継続性もにらみ、次年度も活動の活性化を図ると共に、アウトリーチ活動など様々な形で地域コミュニティにおいて活躍できる契機となるように

サポートをできればと考えております。ただ、これも残念ながら今年度は新型コロナウイルスの影響により今年度は中止の見込みです。

最後に、文化会館の自主事業シート③をご覧ください。事業名『図書館で素敵なもの発見！～ブックカバー作り～』です。昨年度から試みに実施している図書館との連携事業のひとつとして新たに企画しました。この事業は我々が文化会館を出て図書館へ出向いての事業です。ブックカバーを作るだけでなく、図書館司書が予め設定した3つのジャンルからカバーをかける図書を選び、司書が選書した理由を説明するなど図書館連携ならではの特性を持たせています。新複合施設構想もあることから文化会館機能と図書館機能の連携によるソフト面（事業）の新たな形を今後も模索していきたいと考えます。

文化会館からは以上です。

<萩原委員長>

ありがとうございます。順番にご説明いただきましょうか。次お願いします。

<三谷公民館長>

続きまして、公民館の館長三谷でございます。どうぞよろしく願いいたします。

まず、公民館の概略から説明をさせていただきます。中央環状線道路沿い、門真市駅から徒歩5分のところにあります。1986年に開館し、今年の3月で33年目になります。途中、2009年事務所、空調などを改装しましたが、一部2階建ての古い建物になります。長い歴史をもつ館ですが、数年の状況をみますと、まだまだ、公民館の認知度が低い状態にあります。事業の集客状況については、高齢化に伴い、長年愛着を持っていたサークル様の数や構成人員の減少、又少子化のため子どもサークル様の減少を見ますと新規の獲得や、自主事業の開催は急務と考えられます。問題解決のため、2018年より継続で独自のスローガン「ちょこっと寄り道公民館」をかかげ、身近で集いやすい空間づくりを提供する事を目指しました。この1年間・利用していただく方に、また公民館の場所をわかっていただくために、色々な工夫を考えてきました。まずは施設の利便性も重要視いたしました。外周の植栽剪定、花壇の手入れ、昨年大好評でした夏場の暑熱対策のゴーヤカーテン育成、利用者のサービス向上にフリーWi-Fiを活用しました。

次に新しく利用される方には使い心地や不便なところはないかリサーチの為、利用者アンケートを1月から実施しております。

事業面では、子ども達に鑑賞する機会を多く持つてほしいとの思いから、今年も8月と12月は人形劇、11月は流星音のコンサート、12月はスチールパンダによる演奏会を校区、おやこ劇場さんと共催で開催しました。事業としましては、地域連携の取り組みとして守口門真将棋倶楽部協力による『子ども将棋大会』、門真小学校児童クラブの協力による『夏休み理科講座』、小学校のパソコン授業導入に合わせた事業シート①『キッズプログラミング教室』、事業シート②高齢者のみならず若い人を呼び込んだ『生き生きライフ編物講座』、事業

シート③昼間働く大人をターゲットとしたアフターファイブに実施した『大人の料理教室』を新たな取り組みとして実施しました。

昨年に引き続き、空室を学習室として開放しています。小学生の子ども達が訪れることが多く、下校後、子ども達が集まる場所として、最近では近くの企業の退社時にも利用されています。ロビー壁面を写真サークルの作品展示スペースとしたことにより、来館者の関心も高く会話も増えた様に思います。また、利用者の皆様からの要望である小学生を対象にした『目指そう漢字博士』、『親子体操教室』、『親子料理教室』、『はじめての将棋教室』なども継続します。他に、『いきいきライフ講座』として、夏用ベスト、冬用ベスト、今年流行のベレー帽子などの編物を実施し、市民の方に公民館を親しんでいただく為、子供目線、大人目線、色々目線で企画を考えております。公民館は、情報発信し、利用者を集め、「市民みんなで創る!! 人・まち“元気”体感都市 門真」を目指したいと思います。

ありがとうございました。

<山下生涯学習センター長>

続きまして門真市民プラザ・生涯学習センター長の山下でございます。よろしくお願ひいたします。

門真市民プラザ・生涯学習センターの施設は門真市のほぼ中心に位置し、南側で生活されている方にとっては、一番身近な公共施設に位置付けされています。

2019年度は地域の方たちにより密着した講座を、意識してスタッフと検討し事業を取り組んでまいりました。施設には会議室、研修室、多目的室、集会室、IT視聴覚室、和室、プレイルーム、視聴覚室、陶芸木工室、学習室まで兼ね備えまた、同じ建物内には発達支援センターやなかよし広場、図書館分館、教育センターなどが入った複合施設になります。施設では、会議、ダンス、ヨガ、陶芸など多様な趣味や余暇に、幅広い年齢層の方にご利用いただいております。

それでは事業内容の説明に移ります。自主事業シート①をご覧ください。「地域住民、地域産業、各種機関との連携」、「地域コミュニティ充実を図る必要性」をねらいに、大人になってから体験や見学に参加する機会も少なくなり、まだまだ知られていない、門真で活躍する法人や団体を訪れ門真の魅力を知ってもらおう講座を企画いたしました。今回は豆苗の栽培で有名な沖町の中野農園さんにご協力をいただき実施しました。1歳～80歳までの幅広い年齢層の市民が参加され、門真で豆苗が栽培されていることを初めて知ったという参加者も多くおられました。地域産業と連携をしながら、今後も新たな発見や気づきを提供し学びと門真の魅力へと結びつけて参ります。

続きまして、シート②をご覧ください。「地域コミュニティ、健康増進への寄与」をねらいに秋に、薬膳講座を開催しました、身近な食材で、誰でも簡単に実践出来る、レシピ付きの講座を実施しました。薬膳に興味を持たれてる方が多く、男女問わず、幅広い年齢層の方たちに参加していただき、27名の参加がありました。今後も健康に対する興味・関心をひく市民

のニーズを探るとともに私たちができることは何かを追求して講座を提案できるようにして参ります。

最後に、シート③をご覧ください。「地域住民、各種機関・団体との連携、地域コミュニティの充実を図る必要性」、「学習に関する情報発信、相談支援の充実」をねらいに、現在実施している『日本語教室』とは異なる実生活に特化した実践的な学習に重点を置いた講座を新たに6月から開講いたしました。初級・中級に分かれて、講師2名と、地域のボランティア1名で開催し、現在5名の方が参加されています。12月には茶話会を開催するなど、参加者同士のコミュニケーションがとれるよい機会にもなっております。各種の団体や行政とも連携して参加者の方々の声も反映しながら、多文化が共生していける住みよいまちづくりに貢献していければと考えております。

今後も講座を開催した時に、アンケートを取らせていただき、2020年度の講座に反映していきたいと思っております。「来てよかった」「また来たい」と思ってもらえる施設・講座をスタッフと考えて参りたいと思っております。

生涯学習センターからは以上でございます。ありがとうございました。

<萩原委員長>

ありがとうございます。では、次お願いします。

<吉田青少年活動センター長>

青少年活動センター、センター長の吉田です。本日は宜しく願いいたします。施設の立地や概要については、これまで何度かご説明させていただいているかと思われまますので、割愛させていただきます。

では、今年度実施または、今月から来月にかけて実施予定の事業をいくつかご報告させていただきます。

はじめに、事業シート①をご覧ください。昨年度に引き続き、夏休みに実施いたしました『子どもまつり』です。今年は、6講座を実施いたしました。その中の一つに、指定事業の『子ども理科講座ノーベル』が入っていますが、主に小学生を対象とした講座内容ですので、今年度は『子どもまつり』の中で開催させていただきました。参加人数については、事業一覧をご参照願います。それでは、開催しました6講座について簡単にご説明させていただきます。まず一つ目が、『算数マジック!』。数字を使って、好きな数字や誕生日を当てる手品のような学習講座です。二つ目に、『子ども理科講座ノーベル』。今年は子供たちに人気のセミをテーマにした昆虫教室でした。そして三つ目が、『工作体験』。ボーイスカウト様ご協力いただき、どんぐりを使って子どもたちが思い思いの作品を作りました。四つ目に、『親子映画』。皆様ご存じの感動の名作「フランダーズの犬」を上映しました。それから五つ目に、子どもたちの第三の居場所を作る目的で立ち上げた、『オアシス』。こちらは、子ども達がミット打ちの体験をしました。六つ目が、年々手紙を書かなくなって来た子どもたちのために、



手紙の書き方を勉強する『暑中お見舞いを書こう!』を開催しました。各講座、夏休み期間中ということもあり、それぞれに大変盛り上がりを見せました。次年度も子どもまつりを継続して参りますが、今年は、大阪のシンボルである「太陽の塔」をモチーフに創造力をテーマとした、いくつかの講座を実施予定です。

では、次に事業シート②をご覧ください。上段にございます、先月に実施いたしました『J-POPで踊るかんたん振付ダンス』ですが、ここ近年は、小学校の授業でダンスが取り入れられる時代になって来たことを受けて、子どもたちがダンスを踊るきっかけになればと思い立ち上げたものです。当日、参加した子ども達も振付を一生懸命覚えて、とても楽しんでダンスを踊っていました。そして、写真にも写っていますが、何より保護者のお母さま方がお子さん以上に楽しんでいる様子でした。親子共々、1時間の限られた時間の中では、まだまだ踊り足りないといった感じでした。講座終了後、取材に来られていたFMハナコ様が、個々にインタビューをされていましたが、参加された皆様からも喜びの声が非常に多かったです。今回実施してみて大変ご好評を戴いたので、次年度については5月より月1回のペースで毎月実施していきたいと思っております。青少年活動センターでは、これまでダンス系の事業が全くなかったのですが、今後は少しずつ増やしていきたいと考えております。また3月には、元劇団四季の講師の先生をお迎えして、『はじめての子どもミュージカル体験チャレンジ!!』を予定しております。初心者でも、質の高いレッスンが気軽に受けられ、最終日には3回のレッスンの成果を発表するので、きっと子ども達の生き生きとした笑顔を見せてくれることと思っております。

それからもう一つ、今月末に実施します『はじめての声優体験チャレンジ!!』です。これも青少年活動センターでは初の試みです。ダンス同様、自己表現と自己解放、そして声を出すことで、より健康な身体を作ることが目的です。現在中・高校生をはじめ、20代の方まで若い世代の参加お申込みをいただいております。参加資格は中学生以上ということで、特に年齢制限はありませんので、出来れば若い方とご年配の方が一緒に参加していただいて、お互いに刺激し合い、世代間の交流が生まれればと思います。

最後になりましたが、アンケート集計について少し触れておきたいと思っております。アンケートにも「とてもきれい」とありますが、お部屋の利用満足度も86.7%とご利用者様に大変ご満足をいただいております。現在、ルミエールホールの改修工事ということもあり、最近ではダンスサークルのご利用者様が以前より増えております。アンケートにもございますが、「希望通りの場所が取れない」「ダンスに鏡の部屋（特に2階3階の多目的室）をもっと利用したい」とあるように、なかなかご希望の日にご希望のお部屋を予約出来ず、ご期待に添えないのが課題となっております。

青少年活動センターでは、主催講座の充実度向上のために、次年度は更に文化芸術活動に力を入れ、子ども達が秘めている無限の可能性を引き出すために、好きなことへのエネルギーが発揮出来る場を創っていきたくて考えております。

また、これまで行って来た学力不足を補う学習講座も引き続き継続していきたいと思

ます。

青少年活動センターからは以上です。

<萩原委員長>

ありがとうございました。まだまだ話したいこともあると思いますが、それでは委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。どの館についてもどの事業についても結構ですのでご意見、あるいはこの部分をもう少し教えて欲しい、あるいは何かコメントでもお願いします。

<宮本委員>

宮本です。私の方から文化会館を利用させて頂いておりますサークル目線からの現在までの実績と言いますか、それを今日申し述べたいと思います。私は実際文化会館を利用しておりますが直営から指定管理者アクティオさんに移動されてから約4年、古い建物にもかかわらず随所に色々な改善がなされたと感じております。例えば窓口は丁寧で気持ちよくすぐに対応して頂いております。ホールの前に置かれた古い椅子にも黄緑色のカバーが掛けられ気持ちよく座る事が出来るようになりました。玄関を入りますとエントランスの柱や壁に季節の花が貼られたり飾られたり、冬にはクリスマスツリーも置かれて玄関を入ると暖かい雰囲気になります。各部屋の入り口には現在使用中のサークル名が貼ってありドアが閉まっても自分達のサークルがどこかすぐわかるようになりました。以前の会議の時にエレベーターがないので高齢者は2階3階がきつ<いという話が出た折にもっと子ども達の利用を考えればどうかと提言させて頂きましたところ、門真っ子と言う事業が始まり、子ども達の賑やかな声とともに私たちもその声を聞きますと晴れやかになります。いかに子ども達の力があるのかと実感しております。年に1回開催しております文化会館ふれあいまつりも企画会議の時に今年は皆様も参加出来るような歌声喫茶をやりたいと提案しましたところすぐに決断していただきまして即決まりました。生バンドによる歌声広場はホールが満杯になるほど盛況でした。その成果を分析しますと観客の皆様は見聞だけでなく参加を求めている事がわかります。この企画が実現したのは一重にアクティオさんとの連携が出来たからだと思います。この他にもたくさんの改善がございますが、時間がございませんので割愛させていただきます。4年前文化会館の運営を直営から指定管理者アクティオさんに委託されたのはあらゆる面で正解だったと感じております。以上です。

<萩原委員長>

ありがとうございます。成果を実感されていると言う事ですね。せっかくの機会ですので、すべての委員の方に発言いただければと思います。

<川崎委員>

川崎です。今、宮本さんのお話を伺いながらいろいろと考えていたのですが、アクティオさんに引き受けていただく時に私たちが要望したのは、皆が集える場にして欲しいということでした。「この施設は何だろう」「きれいな所一度入ってみたい」というふうになりますようお願いしました。以前は外回りの花壇が手入れされていないこともあり、私も自分達が使う所ですので気になって夜に水をやりに行ったりもしていましたが、そういうことがないように要望いたしました。今はそういうこともなくなり、安心して公民館に通えるようになっております。

それと公民館の認知度が低いっておっしゃいましたが、前から感じているのは、初めて来館するとき、電車を降りると門真の駅に公民館だけ案内表示がないのです。それを見た時に、公民館は門真の施設として認知されてないのかと。これは行政にお願いしたいのですが、私自身、他でも提案を上げていて2、3年経ちましたが未だに対応はされていない状況です。これは是非行政にお願いしたいと思います。

公民館代表としましては、これから先のモノレールの工事が問題となります。私たちもどういう形でサークル活動を持っていったらいいのか、玄関花壇の方にも橋脚がかかるのではないかと、これから環境の面をどのようにしていったらよいのかと思っています。

<萩原委員長>

ありがとうございます。

<山田委員>

アンケートのところに交通の便を良くして欲しいとあります。私ども生涯学習センターと青少年活動センターを利用させていただいてますが、以前から比べるとバスは非常に便利になっていると感じます。ただ、もう少し便数を増やしていただけるとありがたいです。

あと皆さんがおっしゃっているように事務の方が明るくて以前より良くなっていると思います。

それから、子ども達のダンスの鏡の部屋をもっと欲しいということが書いてあるのですが、最近はダンスが盛んなのでわからないことはないのですが、あまり使っていない部屋があるのなら、そういうところを活用し鏡の設置を考えていただけたらと思います。

皆さんがおっしゃっているように、アクティオさんが変わってから非常に市民プラザも使いやすくなっています。今、空調設備も取り替えていただいています。

これはまた違う話ですけどプラザに併設している体育館も少し良くなればもっと使い勝手が良いのではと思います。

あと以前から言っていますが、トイレの便座が冷たい。こればかりは今もウォシュレットの工事費用が高いこともありますが、1つか2つ、男女1つずつでもあったら助かると思います。すごくきれいに掃除をされているスタッフの方、丁寧に掃除していただいているので使い勝手が良いです。そのまま続けていただきたいと思います。

<奥田委員>

私は子ども会育成連合会の奥田です。立場上、青少年活動センターに興味を持って見させていただいたのですが、満足度のアンケートにおいておおむね満足が6割を超えていて非常に良い運営の仕方をされていると思いました。ただ講座を知った場所はホームページ、市の広報、家族、友人からとあるのですが、この中でホームページ、市の広報をもう少し知名度を上げる形で、例えばページの載せ方を工夫していただければありがたいと思っております。あと家族友人からという利用者の口コミもかなり効果が大きいのではないかと思います、このあたりをさらに工夫していただいて、講座の知名度を上げていただければありがたいと思います。

トイレの話が山田委員から出ましたが、大人も便座が冷たいのは大変だと思いますのでそのあたりも改善できるようにして欲しいと思っています。以上です。ありがとうございます。

<勝川委員>

文化協会の勝川でございます。文化協会はだいたいこちらの文化会館を利用されているサークル、教室が多いです。ずっと言ってますように高齢化でこちらのらせん階段を3階まで上がるのは、皆さん大変な感じですが、昨年文化祭で協会のサークル、教室が参加したのですが、搬入、搬出の時ちょっと大変だったと言う苦情を聞いております。そのところをいつになったら新しい施設が出来るのかと会議があればいつも問われます。今日も話があるとありますが、1日でも早く新しい施設が出来ます事を願っております。

私は中塚荘を利用していますので、こちらに来ることはなかったのですが、今回第九の当番になりこちらに来るようになりまして、クリスマスにはツリーが出され、季節ごとにいろんな飾りをされているのは今までなかったことかなと感じました。それはすてきな事だと思っています。

全体的な事を言われていた中で2月、3月に予定されている事がコロナの影響で中止になる事が残念でなりません。声優体験チャレンジ、これも2月の末と言う事で新しい試みで良い企画だと思っておりましたので残念です。本当にコロナウイルスの影響で第九に関わる者として開催も難しい状況です。政府の方から1、2週間で何か新しいめどがつくような発表があるかと思いますが私たちもそれに負けないように頑張っていきたいと思っております。何か意見と言うかとりとめのない話になりましたがよろしくお願ひします。

<萩原委員長>

他に何かございますでしょうか。ありがとうございました。

今、コロナウイルスの話が出ましたが、私も少し冒頭でもふれましたが、これから事業が中止になったり、その中止の対応に追われたり色々な影響が出てくると思います。

今回までの4年の間で整理されてきて、施設の一覧とか事業の取組みについても分かりやすく伝えていただけた点を高く評価しております。当初、整理がつかなくて大変だったと思いますが、ここまでされたと言う事を評価させていただきたいと思います。

コロナウイルスへの対応でさまざまな事業が中止と言う事で、館の活動に少し時間が出来るかも知れません。その時には是非今後に向けて館の状況を把握できるような積極的な要素を探していただければ良いと思います。今日の資料の1枚目の管理運営方針がうまくまとまっているのですが、最後には問題点の対応に力点を置かれています。これは当然だと思いますが、それとは別に門真市生涯学習推進基本計画で4つの基本目標、「知ろう生涯学習」「やろう生涯学習活動」「つくろう学びあう仲間」「つながろう市民みんな」、例えば「知ろう生涯学習」がどれだけ広がってきたのか、「やろう生涯学習活動」をされている方がどれだけ増えているのか、大きな指標をつながる評価を少し考えるべきだと思います。

最近、施設運営ではゴールを示す指標を作る話を取り上げられる事が多いですが、そういうものについて大きな議論に時間を使っていたらと思います。館の運営そのものが生涯学習基本推進計画にどれくらい貢献出来ていて、来年にどれくらい上がっていいのか、数年後にはどうなればいいのかと言うような大きな目標作りに時間を使っていたら良いと思います。当然、アクティオさんだけではなく門真市さんにも参加していただいて、どういうものをつかんで行ったら良いのかを考えていただけないでしょうか。場合によっては1つ1つの館のアンケートではなく、市民アンケートをとったり、市民ボランティアに協力していただいて意見を聞くなど、市や市民と一緒に作り上げて頂く事が大事だと思います。単に数値が上がっているだけでなく、どれくらいの効果が上がっていて、最終目標にどれだけ近づいているかをどう測ればよいのかを議論し、次の方向性に繋がるものを目指していただけると、このコロナウイルスが将来的にプラスに、あの時皆で話合っただけでわかりやすく活動を示せる軸ができてよかったとなるとうれしいと思います。少し無理なお願いかも知れませんが、今そのタイミングだと思いますので、是非今後検討いただけると嬉しいです。

案件2については以上でよろしいでしょうか

引続き新しい施設、案件3の門真市生涯学習複合施設について社会教育課の方から報告があります。よろしくお願ひします。

<隈元社会教育課長>

社会教育課長の隈元でございます。案件3の門真市生涯学習複合施設についてのご説明の前に、まず、令和2年度の機構改革についてご説明させていただきます。

令和元年5月に成立しました「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」いわゆる第9次地方分権一括法が同年6月に公布・施行されまして、公民館を含む社会教育施設について地方公共団体の判断により、市長部局

へ移管することが可能になりました。

これを受けて、令和2年4月より図書館を含む社会教育の部署が市長部局の所管となり、市民文化部に属するよう昨年12月市議会で可決されました。

教育部社会教育課は、市民文化部生涯学習課へ名称についても変更し、ルミエールホールと中塚荘の施設も含めた文化振興の事業も所管いたします。

続きまして、令和2年度予算要求についてですが、内容については文化会館に関することです。文化会館は供用開始から51年が経っており建物の相当の老朽化が懸念されるため、利用者の安全面を考慮し、指定管理期間が終了する令和2年度をもって、文化会館の閉館を予定しています。現在、解体に向けたアスベスト分析調査業務と解体工事の設計業務の委託するため費用に関して、令和2年度予算要求を本日提出しており、3月議会で議決されれば正式に決定となります。

文化会館の利用者におかれましては、令和3年度以降において、引き続き、生涯学習活動を行っていただけるよう、他の市有施設の施設概要や利用料金などを、市議会の予算議決後から1年間をかけて丁寧に周知に努めてまいりますので、委員の皆様におかれましてはご理解を賜りますようお願いいたします。

次に、案件にあります生涯学習複合施設の事業手法決定の経過についてご説明いたします。旧第一中学校跡地において、生涯学習複合施設と交流広場、高層共同住宅・商業・サービス等ゾーンの整備活用を検討しており、市内プロジェクトチームを組織し、事業者による事業参画の意向確認などを行ういわゆるサウンディング型市場調査を昨年12月に実施し、事業手法に関する提案書を作成しました。カラー刷りA3の資料です。詳細は割愛しますが、昨年12月25日の門真市総合教育会議の場において、この事業提案を受けまして市長より教育委員会に対して2つの提案に対する意見が求められました。

一つ目の提案は、「図書館部門を含めた生涯学習複合施設に指定管理者制度を一体的に導入していきたい」。二つ目は、「設計前に指定管理者を早期に決定し、図書館サービス水準の維持向上と運営内容の円滑な引継ぎを目的として、現行図書館に指定管理者を導入したい」との考え方が示されました。

12月の教育委員会定例会において、門真市社会教育委員会と門真市立図書館協議会にも意見を求めるよう指示があり、1月17日に両会議を開催し、各委員から意見を求めました。一部を紹介しますと、図書館協議会の委員から「指定管理者制度の導入前から文化会館などを利用しているが、導入後は良くなった印象を持っているので、図書館に導入することについては、良いことではないかと思う。」という意見があり、先ほどあった各館の自主事

業の充実を利用者としても実感していることがわかりました。

また、社会教育委員会議の委員から「交流広場や文化会館等の利用者が図書館を利用してもらえるように、複合施設に図書館があることを最大限に活かしてほしい」、「図書館と文化会館が一体となって、子どもを中心にしつつ、多様な年代の人が集まるイベントをやっていく必要がある」、「指定管理者が責任をもって設計段階から関与することは、合理的で有効である」、「指定管理者と市との連携を深める方策として、施設の利用者や子どもたちなどと意見交換ができる場を持ち、いろんな世代の人たちが活用できる施設をめざしていくべきであり、そういう生涯学習複合施設のあり方をしっかり検討していかなければならない」といった意見がありました。

これらの意見を踏まえ、1月の教育委員会定例会において、両会議で委員からの意見を付けて、別添の「生涯学習複合施設の運営手法について」のとおり、市長の提案に賛同する回答を行いました。

この回答を受けまして、1月24日の庁議での検討を経て、別紙の「門真市旧第一中学校校跡地整備活用方法」のとおり、事業手法を決定しました。

施設整備に関して、基本設計を分離し、実施設計と施工を一括発注するいわゆるデザインビルド方式により選定された請負事業者が行い、工事監理は基本設計を行った設計者が行います。施設の維持管理と運営は指定管理者が行い、これまで培ったノウハウを基本設計段階で反映できるように早期に指定管理者を選定します。

運営に関して、図書館は、市と指定管理者との役割を明確にしたうえで、図書館の基幹業務を市に残し、役割を明確にした上で指定管理者を導入します。さらに、十分な準備期間の確保や現在の図書館運営のノウハウ継承のため、生涯学習複合施設開設の一定期間前から、指定管理者として現図書館の運営を行うこととします。

文化会館の運営については、現行の貸館を中心のサービスを維持しつつ、自主事業のさらなる充実により、賑わい創出に寄与する必要があるとあり、図書館と連携したイベント開催や、一体的な維持管理など効率的な管理運営が期待できることから、図書館の指定管理者との一体的な管理運営を実施することといたします。

説明は以上です。

<萩原委員長>

ありがとうございます。社会教育課から新施設について少し大きな進展がありましたので、それについて図書館協議会と社会教育委員会議の意見を踏まえて教育委員会としてどのようにしたら良いのか市長からの提案について答えを提出したということです。

今後この整備が進んで行く事になります。合わせて令和2年度を持って、文化会館は閉館の方向性です。これにつきまして、今後議会での議論があって正式決定されると思います。よろしいでしょうか。質問はございませんか。

<勝川委員>

今お聞きしましたところ、令和2年度を持って文化会館が閉館される事に対する市民への周知はいつされるのですか、私も初めて聞きましたが、明日私が所属する文化協会の会議がありますが発表しても良いですか。現在文化会館を利用している教室は今後どこを利用すれば良いですか。回答をお願いします。

<隈元社会教育課長>

正式な決定は先程お話しましたと通り、議会の議決をもって決定されます。本日、本会議が開会されておりますので、議案が提案されています。その提案については公ですし、公民館運営審議会についても公です。今お伝えした内容についても周知して頂いて結構です。正式決定については3月の議会の議決をもってからです。市としてはそれをもってから周知させて頂きたいと思っています。大きな事ですので、1年間丁寧に説明させて頂きたいという思いがありまして、1年前に意思決定してきっちりと準備期間をもうけて丁寧に周知をしていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

<萩原委員長>

これは公式の会議なので、市が考えている方向性が市議会に上程され、市の意見としては公式に提案されているが、最終決定には議会の承認がいるという状態ですね。

市民の方に市の方向性の説明はしてもよいということですね。

<宮本委員>

勝川委員より令和2年に閉館とありましたが、令和3年ですよ。

<隈元社会教育課長>

令和2年度と言うことで令和3年3月までです。

<萩原委員長>

他になければこれで

<川崎委員>

先程も発言しましたが、公民館を利用するサークルとしてモノレールの延長工事につい



て現在わかっていることがあれば教えてください。

<萩原委員長>

モノレールの延長工事について何か情報はございますか。

<西口管理監>

大阪府の土木工事事務所と門真市の方で現在協議段階ですので、情報が確実になりましたら、都度報告させていただきます。

<萩原委員長>

情報がいただけるという事でよろしく申し上げます。以上で議題の方は終了とさせていただきます。最後に事務局の方から連絡事項がございます

<日置文化会館長>

はい、本日はお忙しい中、皆様にはご出席いただきありがとうございました。今後につきましては、まず会議の議事録ができましたらメールにてお送りいたしますのでご自身のご発言のご確認をお願いいたします。委員の皆様には、引続きお力添えの程よろしくお願いたします。

<萩原委員長>

ありがとうございました。これをもちまして、令和元年度公民館運営審議会を閉会させていただきます。皆様ありがとうございます。

(以上)